



いよいよ年度のまとめの時期となりました。自分の成長や頑張りを振り返り意味付けして（自分なりの意味を見いだして）いくことは、キャリア発達に結び付くと言われております。2～3月の学習目標は「1年間を振り返り、自分の頑張りや成長を確認しよう」です。本校では、学びの積み重ねが残るようための手立ての一つとしてキャリアノート（YES）を用いています。今回は、各学部での使用例を記載します。

	小学部	中学部
使用目的	学習の楽しさや頑張りを思い出したり、認め合ったりするためのツール	学習で感じたこと、考えたことをまとめ、次に生かすためのツール
使用例	4年1組の使用例	3年2組の使用例
画像	<p>教師のコメント</p> <p>家庭からのコメント</p>	<p>次の目標を記入</p> <p>友達のよさ</p> <p>自分の言葉での評価</p>
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 単元の終わりに、教師がまとめたキャリアノートを見ながら、楽しかったことやがんばったことを振り返り、達成感につなげた。 保護者もキャリアノートを見て、コメントを記入することで、できたことやがんばったことを共有するとともに、家庭でもやってみようとするきっかけ作りにもなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時でできたこと、次時に頑張ることを記入することで、個々の目標を明確にした。 友達のよかったところを見付け、互いのよさや頑張りを認め合うきっかけにした。 キーワードでのまとめを積み重ね、単元の振り返りの際に、自分で具体的な言葉を使って評価できるようにした。

高等部	
使用目的	指導計画の立案、指導内容の選定のツール（教師側） 学びを蓄積し、自分の成長を実感するためのツール（生徒側）
使用例	3年希望グループの使用例
画像	
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がより活用できる様式を検討し、持ち運びのできるサイズにして、いつでも学んだことを確認できるようにしている。 内容は生徒の実態に応じて、キャリアノートの中から、必要性、必然性の高い学習内容を精選し、整理されている。

キャリアノート（YES）の使い方は、児童生徒の実態や指導の形態の特徴によって変わりますが、上記の使用例を参考に児童生徒の学びが将来に残る工夫をしていきましょう。

☆児童生徒の「今」が充実することで将来が変わってきます。
「今」学んだことが将来に残ることのメリットを考え、
将来の姿をイメージしながら、
「今」の学びを着実に積み重ねていきましょう！！



